

夏のヒヤリ!

気をつけて—



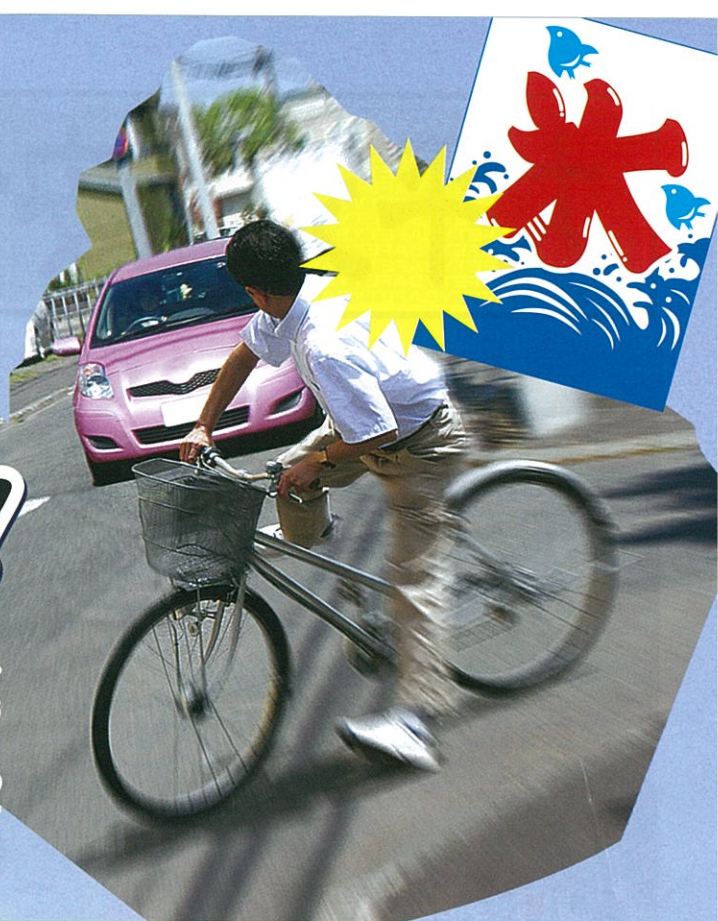
- 暑い季節には、かき氷やアイスクリームなど冷たいものを食べてヒヤリしたくなりませんが、つい食べすぎると、体調を壊すことにもなりかねません。
- そして、交通場面で遭遇する「ヒヤリ」も、一歩間違うと交通事故を招き、ケガをしたり、命を落としたりする危険を伴います。
- 暑さでつい気がゆるみ、危険な行動をしがちな夏を無事故で乗り切るために、家族みんなで安全運転(通行)のノウハウを身につけ、しっかり実行しましょう。

大平町交通安全協会

(事務局：大平総合支所 生活環境課)



こんなヒヤリ!は事故のもと!



- 夏の暑さでボーッとしながら車や自転車を運転、あるいは道路を歩いていたら、危険を見落とししたり、発見が遅れたりして、「ヒヤリ!」とした経験がある人もいないのでしょうか?
- そこで、「ヒヤリ!」しやすい交通場面と、各場面での事故防止のポイントを、「ドライバー」「自転車利用者」「歩行者」に分けてまとめました。



▲一般道路だけでなく、高速道路でも渋滞中には追突事故が多発...

★街なかや行楽地など、多くの車で混雑している道路をノロノロと走行しているとき、つい気がゆるんで、カーオーディオの

**減速した前車に
追突しそうに
なってヒヤリ!**



▲歩道から、一時停止せずに車道に出てくる自転車が少なくない...

★交通量が少ない、いつもの通り慣れた信号がない交差点を通行するとき、交差道路から一時停止をせずに出てきた自転車や

**交差道路から
突っ込んできた
車両にヒヤリ!**

操作などをして無意識に脇見をし、不意に減速・停止した前の車に追突しそうになってヒヤリとしたことはありませんか?
●渋滞でスピードを出していないくても油断せず、先々の交通状況にもしっかり目配りして、前の車の減速・停止を先読みしましょう。

●ゆるやかに見えるカーブでも、カーブに進入する前に必ずスピードダウンするとともに、特に左カーブでは、「対向車がこっちの車線にはみ出しぎみに走ってくるかも!」と予測して、なるべく道路の左側に寄って走行しましょう。

●また、右カーブでは、自分の車がセンターラインをはみ出さないように注意しましょう。

★レジャーなどで郊外の道路を走行しているとき、見通しの効かないカーブの先から、センターラインをはみ出すように走行してきた対向車と衝突しそうになってヒヤリとしたことはありませんか?

**カーブの先からはみ出してきた
対向車にヒヤリ!**

車と衝突しそうになってヒヤリとしたことはありませんか?
●暑さなどで注意力が低下し、一時停止を怠って交差点に突っ込んでくる自転車や車もありますので、必ず交差道路の車両の有無をしっかりと確認してから交差点を通行しましょう。



予想外に
交差車両が
出てきてヒヤリ!

★自宅近くにある信号がない交差点を通行するとき、「いつも車はこないから…」と油断して、一時停止を怠って交差点に進出したところ、交差道路から車が出てきてヒヤリとしたことはありませんか?

●暑さでつい警戒心がゆるみがちですが、たとえ、いつもはめったに車がない交差点でも、「もしかしたら車が出てくるかも…」と警戒し、一時停止標識の有無にかかわらず、必ず一時停止をして、交差車両の有無をしっかりと確かめましょう。

右・左折車が
目の前を横切つて
ヒヤリ!

★「青」信号の交差点を横断するとき、周りの状況をよく見ないで自転車横断帯(横断歩道)を通行していたところ、交差点を右・左折してきた車と衝突しそうになってヒヤリとしたことはありませんか?

●信号が「青」でも、交差点を右・左折してきた車が自転車横断帯(横断歩道)を横断することがありますので、横断前はもちろん、横断中も周りを広く見渡し、近づいてくる車の有無をしっかりと確かめましょう。



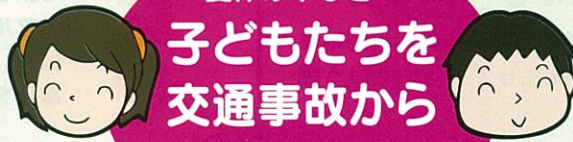
▲特に夜間は右・左折車のドライバーに見落とされやすいので要注意…

1 「とび出し」に注意

●路上に遊具等が放置されているときは、それに向かって子どもがとび出してくるかも…

2 小さな物陰もチェック

●子どもは電柱や看板などの陰にも隠れる…



夏休み中など…
子どもたちを
交通事故から
守りましょう!

3 同伴者がいる子どもは特に注意

●友だちや家族と一緒にいるときは、警戒心が乏しくなり、とび出しなどの危険行動をとりがち…



▲特に横断歩道付近からの横断は、ドライバーに見落とされやすいので危険…

★交通量が少ない、いつもの通り慣れた自宅近くの道路を渡る時、「めったに車は通らないから…」と油断して、安全確認

道路を渡るとき、
すぐ近くまで車が
きていてヒヤリ!



をおろそかにして渡り始めたところ、すぐ近くまで車がきていてヒヤリとしたことはありませんか?

●強い日差しにいつつむいて歩きがちですが、意識的に背すじを伸ばして歩き、たとえ、いつもはあまり車が通らない道路でも、道路の端で必ず一度立ち止まり、右左を見て、近づいてくる車の有無をしっかりと確かめてから渡りましょう。

夜間歩行中、
見落とされて
ヒヤリ!

★夕涼みがてら外を歩いているときなど、自分のすぐそばを勢いよく車が通過してヒヤリとしたことはありませんか?

●車のライトの照射範囲は意外に狭く、ドライバーからは歩行者がよく見えていませぬので、道路を渡るとき、車が近づいてきていたら、その車が通りすぎるまで待ちましょう。

●また、夜間に外出するときは反射材を身に付け、歩行者の存在をドライバーにアピールしましょう。

■レジャーシーズンも本番を迎え、家族や仲間らと海水浴やキャンプなどに出かける機会が増えますが、慣れない場所での運転や遊び疲れなどにより、うっかり・ぼんやり運転、居眠り運転などに陥り、事故を起こす危険があります。

■出発から到着まで、無理せず、事故なく、「レジャードライブ」を楽しみましょう！

1 前日は、しっかり睡眠

- 睡眠不足で運転すると、ぼんやり・居眠り運転の原因となります。

2 前席はもちろん、後部座席でも必ずシートベルト着用！

子どもにはチャイルドシート！

- 交通事故時、シートベルト非着用のドライバーが死亡する確率は着用者の50倍以上、助手席乗員では10倍以上、後部座席乗員では3倍以上です。

3 1～2時間おきに休憩

- 眠気を感じて仮眠をとる場合は、最低でも1時間以上仮眠しましょう。



4 目的地が近づいたら、改めて警戒心を高める！

- 居眠り運転による事故の5割以上は、目的地まで10分以内の場所で発生している—という調査結果があります。

ドライバーは、出先でお酒を飲まない！

- キャンプや海水浴などの際に酒を飲む人も少なくありませんが、飲酒后、血液中のアルコール濃度が平常値に戻るまでには思いのほか時間がかかり、飲酒運転で事故を起こす危険性が高くなります。

5

6 同乗者も安全運転に協力する！

- 助手席の乗員はドライバーに道案内をする、ドライバーの気が散らないよう同乗者は大声で騒がない—などの協力・配慮をしましょう。

3S運動推進中



5月26日(日)に行われましたふれあい健康福祉まつり会場で、大平町交通安全協会女性部ドライバー会が交通安全啓発活動を行いました。

会場には白バイ・パトカーの体験乗車コーナーもあり、白バイ隊・警察官とともに活動しました。

お子様や高齢者の方など多くの方に3S運動、交通ルール・マナーについて理解していただきました。

..... 3S(スリーエス)とは

SEE(見る)、SLOW(減速する)、STOP(停止する)の頭文字で

①SEE 子どもや高齢者をいち早く発見する。動きをよく見る。

②SLOW 子どもや高齢者を見たら減速する。

③STOP 道路で立ち止まったり横断中の子どもや高齢者を見かけたら、停止する。